

KAWASAKI H2SX Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ MFJ レースレギュレーション対応 ステップパー	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➢ 両側ペダルピン、可倒システム採用。		➢ 5ポジション可変システム
➢ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理		➢ ステップパー 固定式仕様

《 **注意 !!** 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 **Attention!!** 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

☆ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M6 ボルトを緩めて、その後にブレーキ側ステップホルダー を取付けている M8 純正ボルトを緩めて純正ステップを車体から取り外します。

ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを、ラジオペンチ等で取り外します。

その後、純正ブレーキランプスイッチアのジャストナットを回してブレーキランプスイッチを純正ステップホルダーから外し、スイッチのアジャストナットも純正ステップホルダーから外してください。

クルーズコントロールキャンセルスイッチを純正ステップホルダーから取り外す。

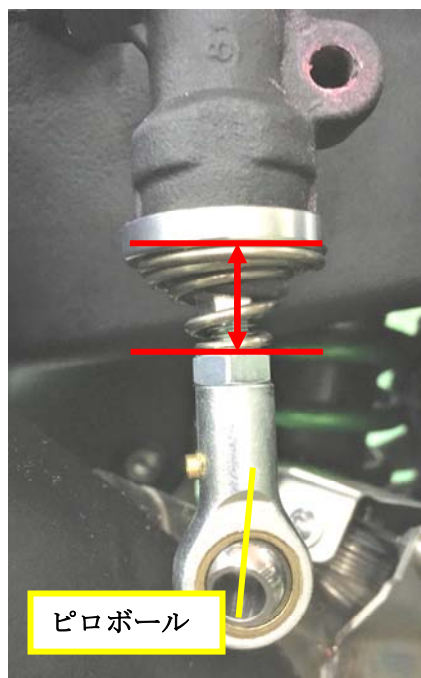
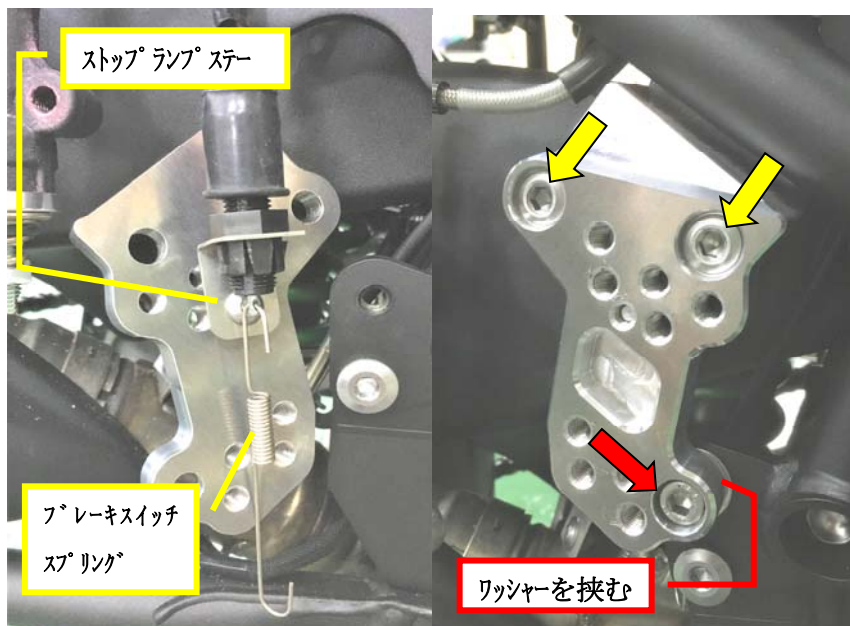
リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、純正ステップホルダーをホルダーAssy ごと回してマスターシリンダーから、完全に取り外します。

(※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します)

下図左の様に、純正ブレーキランプスイッチをステーに取り付け、スイッチスプリングもスイッチの穴に通しておく。

※純正のスイッチカバーは取外します。

下図右の様に、上側 2 か所を M8 段付ボルト、下側はワッシャーを挟み M8×20 キャップボルトでプレートを取り付ける。



左図の様に、純正マスターシリンダーに

- H/B リターンスプリングカラー
- ペダルリターンスプリング No.10
- 純正 M8 アジャストナットの順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、下のナットの上端との距離を 16 mm (※左図矢印参照) に調整し純正アジャストナットで仮止めし、ピロボールも取り付けておきます。

※後で要再調整

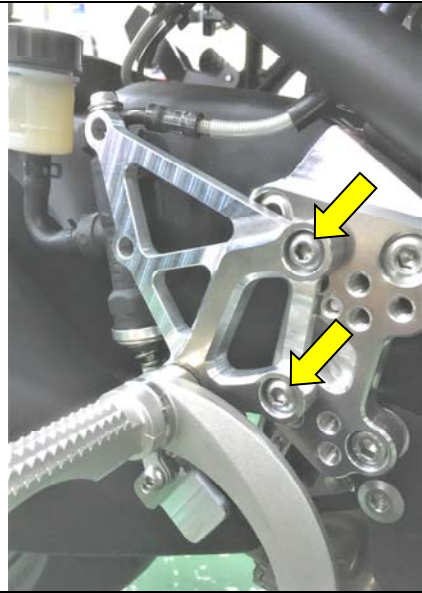


ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×60 を締め込み、裏から左図の様に、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

純正ステップホルダーから外していた、クルーズコントロールキャンセルスイッチを、純正カバーとプラスネジで取り付ける。



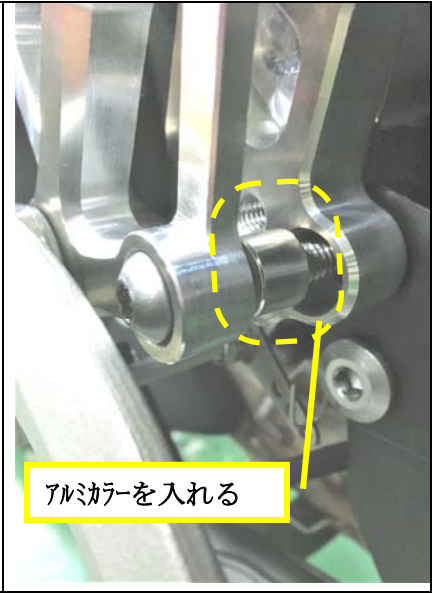


ステップホルダーを丸キャップボルト M8×20 で好みのポジションに取り付ける。

注：ノーマルマフラーの場合、ポジション4は選択出来ません。

ポジション1のみ、
ポジションプレート
下側 M8×20 キャップ
ボルトを取外し、
9.5t アルミカラーを
挟み、丸キャップボル
ト M8×35 で共締め
し取り付ける。

※フレームとポジ
ションプレート間に挟
んだワッシャーを落
とさないよう注意す
ること。



アルミカラーを入れる



リザーバータンク

マスターシリンダー

M6 フランジナット

スプリングワッシャー

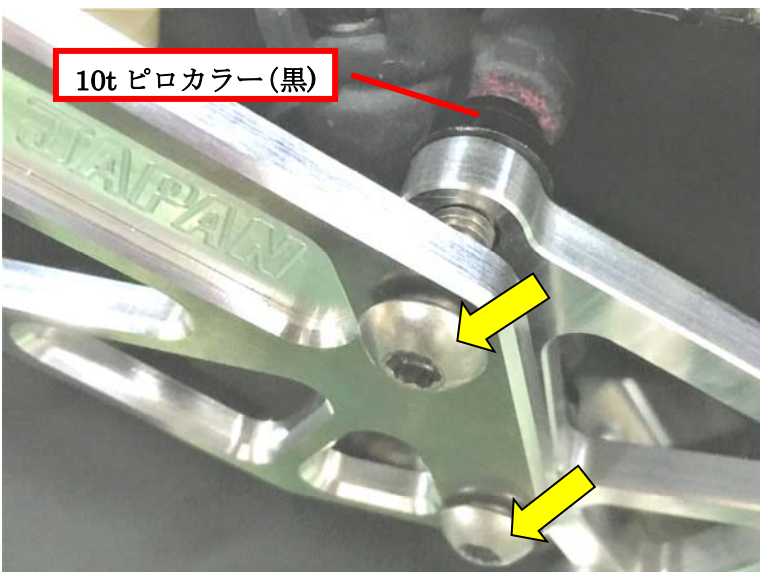
純正ボルト

オフセットステー

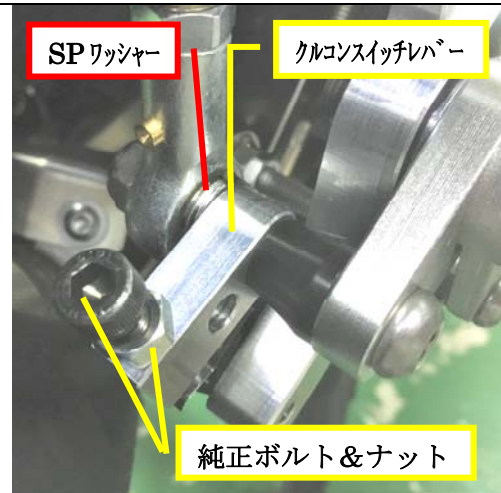
ステップホルダーのマスターシリンダー取り付け穴に、マスターシリンダーのネジ穴を合わせ(ボルトを仮で通してもよい)、リザーバータンク～マスターシリンダー間のホースの曲がりに無理がない位置に、オフセットステーでリザーバータンクを移動させる。

※ポジション3(ノーマル位置)の場合は、オフセットステーは必要ありません。

ステップホルダーとマスターシリンダーの間にカラーを挟み、丸キャップボルト M8×40 でヒールプレートとマスターシリンダーを取り付ける。



10t ピロカラー(黒)



SPワッシャー

クルーズスイッチレバー

純正ボルト&ナット

純正ブレーキペダルよりクルーズコントロールスイッチ用のボルトとナットを取外し、スイッチレバーに取り付ける。

ブレーキペダルとマスターシリンダーのピロボールの間に、13.5t カラー・スイッチレバー・SPワッシャーの順で挟み丸キャップボルト M8×55 で組み付ける。
※スイッチレバーが下図の角度ぐらいになる様に締め付ける。

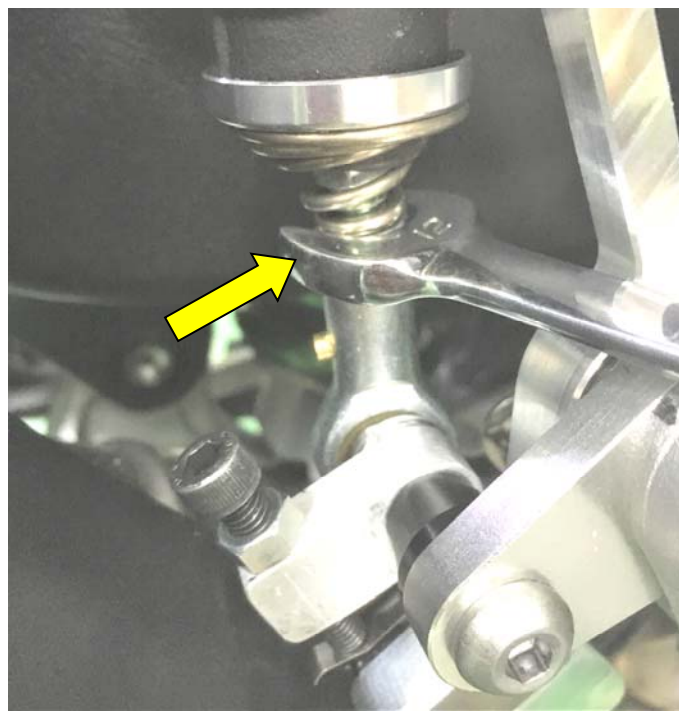
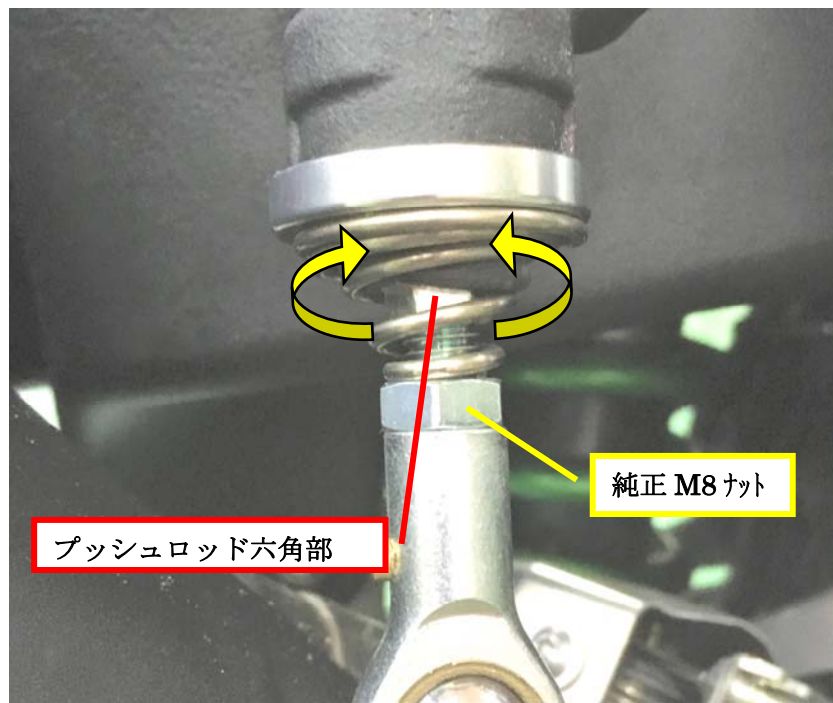
ブレーキペダルを操作した際に、クルーズコントロールスイッチがオフになる様に、ボルトの突き出し量を調整する。
調整後は必ずナットを締めロックする。



調整後は必ずロック

ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドの六角部を 10 mm のスパナで回転させ調整します。

ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。



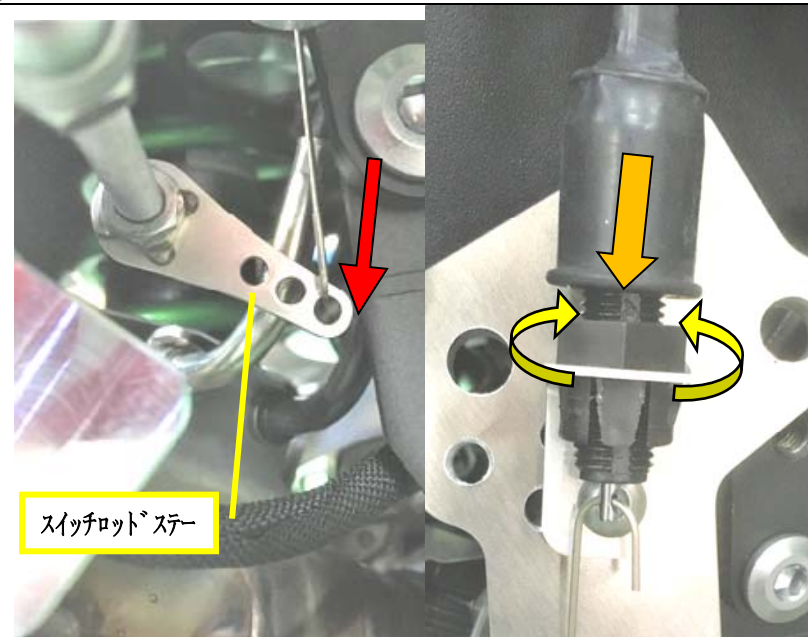
➤ ペダルが 上向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

➤ ペダルが 下向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

矢印の M6 ナットを緩めスイッチロッドステーをフリーにした状態で、ブレーキスイッチスプリングを先端の穴に取り付ける。ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。

ポジション 1 の場合は、スイッチロッドステーとフレームが近くなる為、クリアランスが出来る様に純正ブレーキランプスイッチを調整する。



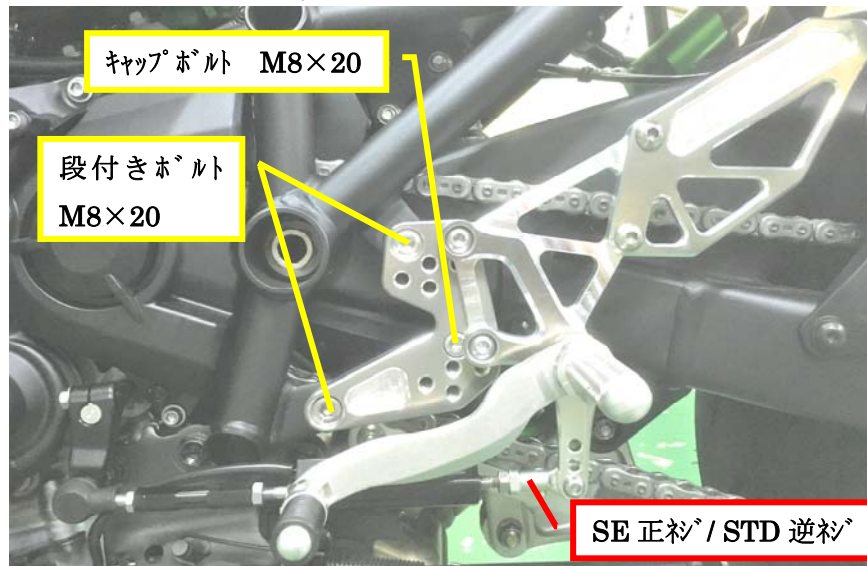
◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

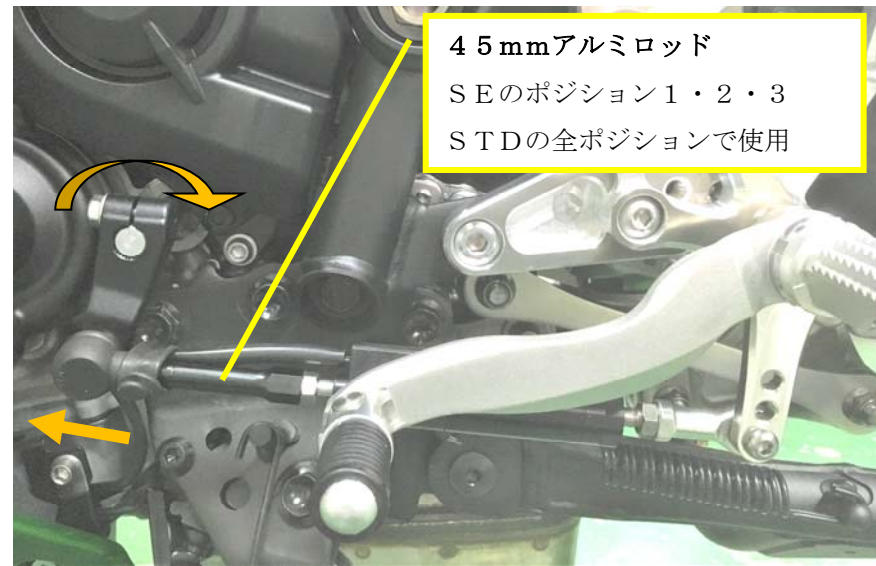
LH (チェンジ側) の取り付け

- ▶ ノーマルステップを車体に固定している純正 M8 ボルト 3 本を外しノーマルステップを車体から外します。
 - ▶ 純正チェンジシャフト(SEはシフタースイッチを含む)を止めている、純正 M6 六角ナットを緩めて、純正チェンジシャフト及びシフタースイッチ(SEのみ)を外し、ノーマルステップを完全に取り外す。
- ※純正チェンジカムは使用します。

ポジションプレート・ステップホルダー・ヒールプレートを、ブレーキ側同様に取り付ける。
チェンジペダルに付けるピロボールは、SEが正ネジ、STDが逆ネジと違いがある。



SEのポジション1のみ、純正チェンジカムの固定ボルトを取外し、セレーション(ギザギザ)を1コマずらした位置で組付けて使用する。



※ 最初の取り付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

右図の様に組付け、チェンジペダル高さをロッドの長さを変更し好みの高さに調整する。
調整後、必ず3つのM6ナットを本締めする。

- SEの場合 (付属の正ネジピロボールを使用)
- P 1 45mm アルミロッド + 純正シフタースイッチ (チェンジカム位置変更)
 - P 2 / 3 45mm アルミロッド + 純正シフタースイッチ
 - P 4 / 5 純正アルミロッド + 純正シフタースイッチ

- STDの場合 (付属の逆ネジピロボールを使用)
- P 1 / 2 45mm アルミロッド + 130mm ステンレスロッド
 - P 3 45mm アルミロッド + 130 or 150mm ステンレスロッド
 - P 4 / 5 45mm アルミロッド + 150mm ステンレスロッド

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!

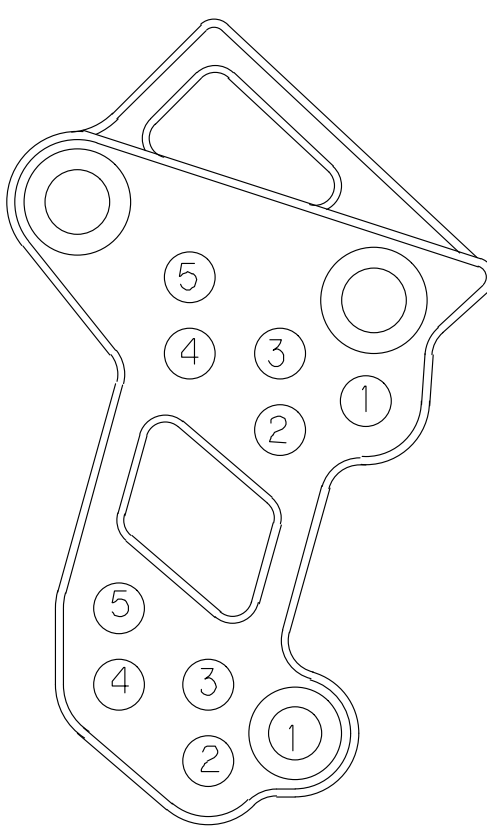


停車状態で、シフトチェンジ操作を2～3度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	<i>BACK</i>	<i>UP</i>	
<i>Pos.1</i>	<i>- 1 3. 5 mm</i>	<i>- 7. 5 mm</i>	
<i>Pos.2</i>	<i>0 mm</i>	<i>- 1 2 mm</i>	
<i>Pos.3</i>	<i>0 mm</i>	<i>0 mm</i>	
<i>Pos.4</i>	<i>1 4 mm</i>	<i>0 mm</i>	
<i>Pos.5</i>	<i>1 4 mm</i>	<i>1 2 mm</i>	

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能です。極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

<p>弊社製品に関するお問い合わせは、</p> <p style="text-align: center;">TEL. 072 (257) 7600 FAX. 072 (259) 6600</p> <p style="text-align: center;">(株) 日本ビート工業 まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ホームページ URL http://www.beet.co.jp/ ➤ 商品関連 e-mail アドレス sales@beet.co.jp 	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 0;"><i>BEETWebsite</i></p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 5px 0 0 0;">Web サイトを開設しております。 左記 URL にて ご覧下さい。</p>
--	---	--